

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	浜田県土整備事務所	氏名	岡 透
派遣先 団体名	出雲市高松コミュニティセンター		
<p>① 研修の日時</p> <p>1) 七恵まつり(高松地区の夏祭り)</p> <p>8月13日(火) 8:30~17:00 会場準備</p> <p>8月14日(水) 8:30~23:00 祭り当日</p> <p>8月15日(木) 7:00~12:00 会場片付け</p> <p>2) 高松地区防災訓練(地震災害を想定した情報伝達訓練)</p> <p>9月29日(金) 9:00~12:00</p> <p>② 研修の内容</p> <p>高松コミュニティセンターの一員として地区行事の事務を手伝い、地区の取り組みや従事する役割を体験する。</p> <p>1) 七恵まつり</p> <p>祭り実行委員会の研修生として、設営部の手伝いを行う。</p> <p>前日は会場の高松小学校校庭へテント、机、椅子など祭りで使用する資材を搬入し、テント位置の線引きと、ゲームコーナーの景品づくりを行う。</p> <p>祭り当日は、午前中に入場ゲートやテントの設置、机・椅子を配置し会場づくりを担当。午後からの「まつり本番」は、コミセン職員と共に受付で来場者への粗品渡しを担当。午後9時終了後、テントの解体、机・椅子など資材をコミセン倉庫へ搬出。</p> <p>翌日早朝から資材の収納と会場の清掃を行う。</p> <p>2) 高松地区防災訓練</p> <p>本訓練は、総合訓練(屋外)と情報伝達訓練(コミセン会議室)を平成20年度から隔年ごとに実施されている。</p> <p>今年は情報伝達訓練を行うが、訓練会場のコミセン会議室で訓練手順の確認と訓練状況を見聞する。</p>			

③ 研修の感想

今回の研修は、出雲市高松地区コミュニティセンターの一員として地区をあげての大きな行事である「七恵まつり」と「地区防災訓練」に参加し、ともに貴重な体験となった。

1)「七恵まつり」について

高松地区の「七恵まつり」は市内各地区の祭りの中でも名の知れた祭りで、毎年お盆の時期に高松小学校校庭で盛大に行われている。私の地区も夏祭りがあるので、この裏舞台が見られることにとっても関心があった。聞けば、年度始めから実行委員会が設立され、各町内会から委員を選出し4月から毎週1回のペースで会合が開かれ、準備に多くの時間がかけられたことを知り地区の熱い想いが分かった。今回、私は実行委員会3部門のうち設営部に交じり準備作業に参加したが、部員たちは長年の経験者から初めての参加者まで年齢も職業もまちまちの中、これまで何回もの会合で気の知れた仲間であり、和気藹々の雰囲気や夜遅くまでの作業も常に笑いが絶えなかった。初参加の私も一地区民になったような感覚にさえなったほどである。祭り本番は、地元の若手団体による踊りのパフォーマンスを中心に、家族連れの来客で校庭が埋めつくされるほどの賑わいに、我が地区もこうあって欲しいと強く感じた。コミセンは、こうした行事の中核であり、地区民が集まる拠点であることを改めて感じさせられた研修となった。

なお、祭りの後に設営部の慰労会が別途開催されたのだが、私も参加させていただき更に交友を深められたことにとっても感謝している。

2)「地区防災訓練」について

高松地区は、平成20年度から総合訓練(屋外)と情報伝達訓練(屋内)を隔年ごとに実施しており、出雲市内でも先進に行く防災訓練を行なっている。

今回は情報伝達訓練で小規模と聞いていたが、会場のコミセン会議室は、まさに災害本部の雰囲気そのもので驚いた。参加者も各町内や各種団体の外、出雲市役所、警察署、陸上自衛隊の職員まで多種に渡っており、訓練のシナリオも被害の具体的な場所を想定した大地震で現状感のあるものとなっていたからである。また、会場の参加者だけでなく、各町内では実際に避難場所に集まり不在者の確認まで行なって人数把握をするなど、地区民総参加の訓練活動を初めて見せていただいた。

東日本大震災でも教訓となっているが、災害に対するは日頃からの訓練にほかならないものの、本当の意味で実施している地区はごく僅かであり、本地区の活動がもっと知られてほしいものである。

なお、私の地区も今年度はじめて防災訓練を実施したが、実態は町内役員主体の参加状況であり、高松地区を見た私は意識改革の発信をせねばと思っている。

3)その他

近隣地区ということもあり、自身の地区と対比できた参考になる研修となった。ぜひ今後も同類の受入れがあることを望み、新たな研修生が参加されることを期待する。

④ その他特記事項

研修報告にあたって、内容がひと目で分かるよう写真を撮っておくべきであった。